



中村 実
議員

質問

防災・災害対応について

筒石・徳合地区の裏山は切り立った法面になっており、昭和63年から平成12年までの間、斜面の浸食や崩壊防止を目的に、国内でも類を見ない5.9ヘクタールという膨大な法枠工の施工をしていただいた。この工事のおかげで斜面からの崩壊や雪崩の発生もなくなり安心していたところではあったが、昨年からの現地点検調査と、この調査結果に基づいた法枠補修工事の説明会が開催され、多くの地元関係者の出席があった。この工事は新潟県の発注であるが、地元住民の安心安全のために、市としてどのように関わっていくのか。

筒石・徳合地区における県の説明会は何回開催されたか。また、法枠工直下に人家が連担する筒石地区の緊急点検、定期点検はどのように行われているのか、今後の補修方法と安全対策について伺う。

▼市長答弁

机上、現地合わせて7回の説明会が行われており、詳細な説明が果たされたと思っている。

また、定期点検は5年に1回、緊急点検震度4以上の地震等を観測した場合に原則目視で行うとしている。

地元が要望している機能強化対策については現在調査中であり、雨期の状況を確認した後、工法の検討を行うと聞いている。



国道8号から見た現地の様子

こころが聞きたい！一般質問



吉川 慶一
議員

質問

新潟焼山の火山活動について

- (1)新潟焼山の火山活動が活発化し、昭和49年の水蒸気噴火と同程度の噴火が起きた場合、素早い情報が必要とされるが、市として今後情報伝達をはじめ防災対策をどのようにするのか。
- (2)登山者に対する注意喚起はどのように行っているのか。また、情報の公開はしているか。

▼市長答弁

- (1)地域防災計画と、新潟焼山の噴火活動が活発化した場合の避難計画に基づき対応していく。また、新潟焼山火山防災協議会をはじめ、関係機関と連携して火山防災対策を進めるとともに、防災行政無線などにより市民への情報伝達を図っていく。
- (2)妙高市、小谷村と連携し、それぞれの登山口に立入規制の看板を設置するとともに、ホームページなどにより注意喚起を行っている。

質問

地域おこし協力隊・集落支援員について

- (1)全国で多くの地域おこし協力隊の方々が活躍されているが、糸魚川市の地域おこし協力隊の主な地域と期待される活動について伺う。
- (2)集落支援員の配置はいつから実施されているのか。集落との取組の現状と今後の課題を伺う。

▼市長答弁

- (1)現在2名の隊員が、小滝地区と市内全域を対象にそれぞれ活動を行っている。小滝地区では、高浪の池の運営支援や情報発信、パソコン教室の開催や健康教室の運営支援などを行っており、市内全域を対象にした活動では、移住・定住情報の発信や空き家バンクの支援、移住相談会での誘致活動などを行っている。
- (2)平成25年度から活動を開始し、高齢者宅の巡回をはじめ、地域行事の運営支援や話し合い活動への参加など、中山間地集落の活性化を支援している。今後の課題は、これらの活動を継続していくことができるよう担い手を育成することと考えている。

その他質問項目

- 糸魚川市の子ども一貫教育・行政改革提言に対する保育園の取組について